

岐阜県地域プロジェクトから見てきた成果と普及の可能性

羽島市立羽島中学校 校長 横山 隆光

p81083@gifu-net.ed.jp

キーワード：オープンソース、マルチプラットフォーム、コスト削減、操作性、教育用コンテンツ

1. はじめに

財団法人コンピュータ教育開発センター（CEC）が実施した平成17年度教育情報化促進基盤整備事業の Open School Platform（OSP）の岐阜県における実証実験（岐阜県地域プロジェクト）の成果を報告する。本実証実験には県内の児童生徒2,152名が参加した。参加機関は岐阜県教育委員会、輪之内町教育委員会、羽島市教育委員会である。参加した学校は岐阜大学教育学部附属小・中学校、輪之内町立大藪小学校、羽島市立羽島中学校である。本プロジェクトは、教育現場がオープンソースソフトウェア（OSS）環境を継続利用するための運用の自立化、OSSの導入による初期導入コストと維持コストの低減、OSSを学習に活用する場合の教育委員会の支援、教員の負担、児童生徒の使い勝手、非OSSとの混在による問題点、広くネット上に存在する教育用コンテンツの活用について検討することなどを目的としている。

2. 実施環境

各学校のネットワーク環境等について説明する。附属小学校ではPC室に設置してある Windows PC を42台の Linux PC に入れ替えた。各 Linux PC は有線LANで接続し、Linux PC をPC室から持ち出して利用する場合は無線LANで接続した。附属中学校では多目的学習室に42台の Linux PC を設置し、無線LANで接続した。また、Linux PC をプロジェクトに接続してe-黒板として利用した。大藪小学校では33台の Linux PC の一部を廊下のフリースペースに設置し、児童が必要とするときにいつでも利用できるようにした。また、各クラスに1台ずつの Linux PC を配置し、有線LANおよび無線LANで接続して授業で利用した。羽島中学校では40台の Linux PC を少人数教室に設置し、移動式の保管庫で充電し、必要な場所に移動させて無線LANで接続した。また、各学校にはファイルサーバを設置し、クライアントのデータを保存した。各学校のネットワークは県内の学校や教育機関を結ぶイントラネットである岐阜県学校間総合ネットに接続され、データセンターを経由してインターネットに接続している。

3. 授業実践例

（1）理科実験での活用

羽島中学校では Linux PC を理科の授業に活用した。図1に示す移動式の保管庫から9台の Linux PC を理科室に持ち込み、図2に示すように実験台に設置して、岐阜県の開発した教育用コンテンツやインターネット上にある教育用コンテンツ「天秤の使い方」の動画を利用した。生徒は教師の説明を聞いた後、天秤の操作手順を Linux PC で繰り返し確認しながら質量を測定することができた。生徒は Linux PC の操作にとまどうこともなく、動画の再生もスムーズで、どの生徒も天秤の正しい操作ができるようになった。

（2）プレゼンテーション作成での活用

附属中学校では図3に示すように Linux PC を多目的学習室に持ち込んで社会の調べ学習に活用した。インターネットで調べ、Star Suite で発表の資料を作成し、作成した資料をファイルサーバに保存した。インターネット上のWebページを検索したり、Star Suite で発表用のプレゼンテーション資料を作成したりする作業が順調に進み、全員の生徒がプレゼンテーション資料を作成することができた。



図1 移動式の保管庫



図2 理科室での活用



図3 プレゼンテーションの制作

